

## Apex 7 基本チューニングガイド

使用するに従い弓のチューニングは変化していきます。このガイドでは、チューニングをメーカー設定値に戻すやり方を説明します。ポンドを落としている人は調整前に上下のリムボルトを締めてから行ってください。

- 1 - カムの調整
- 2 - ホイールの調整
- 3 - ティラーハイトの調整

### 【下カムの調整】



まずはアクセル間の長さをはかります。写真左の丸で囲んだ銀色のロッドがアクセルで、上のロッドから下のロッドまで距離を測ります。

メーカーの設定値は 38 インチです。

ストリングの長さを調整して、アクセル間を 38 インチに調整してください。



最終的な微調整では、カムについている 2 つのタイミングドットを結んだ線(写真の下の赤ライン)がストリングと平行になるように調整してください。この調整を終了した後、アクセル間がぴったりの値(38 インチ)から $\pm 1/32$  インチほど変化するかもしれませんが、ドットの位置が正しい位置にあることを優先してください。



### 【ホイールの調整】

次にブレスハイトをはかります。ブレスハイトとはグリップの一番深い所から、弦の中央までの距離です。

メーカーの設定値は7インチです。

自分の値をここに記入してください \_\_\_\_ インチ



次に上のホイールが弦に対してまっすぐ接するように調整します。上の写真では弦に対して、ホイールは左を向いています。ケーブルはリムに対して2つの接点を持ち、ケーブルをねじることで、ねじりをほどくことでも調整することができます。この時に大事ななのは自分の弓のブレスハイトです。ケーブルをねじることはブレスハイトを高くします。

上の写真のような状況の時、もし、ブレスハイトが高いのであれば、右側のケーブルのねじれをほどくことでホイールをまっすぐします。ブレスハイトが低いのであれば、左側のケーブルをねじってホイールをまっすぐします。



左の写真のようにホイールの側面にシャフトを当てて、矢のラインとストリングのラインが平行になっているかを見ることで、微調整をすることが来ます。写真のような状況の場合、どちらかのケーブルを1回転すると、矢はポイントの約半分程度動きます。

これでカムホイールの調整は終了です。これらの調整はガイド通り調整することをお勧めします。メーカー設定値から外れたポイントに設定することでメリットが得られることはありません。

### 【ティラーハイトの調整】

ワンカムボウではティラーハイトの測定はアクセル間にひもをはり、リムの付け根(ハンドルとリムが接するポイント)から、ひもまでの距離を測定します。

ただし、この値はこれまでの調整と違い議論の余地があります。上下のハイト(距離の差)はゼロにするのが一般的ですので、ゼロになるようにリムボルトで調整してください。

しかし、実射での結果により、ゼロから最大で下リムの方の距離が 1/8 インチ短くなるまでの間に最適なポイントがあるという議論があります。リムボルトを締めるだけでティラーハイトの調整をすることが可能なので、射場でグルーピングを見ながら、自分にあった値を見つけてください。

\*弦をねじることはアクセル間の距離を短くし、ブレースハイトを高くし、下のリムのハイトを高くします。ケーブルをねじることはアクセル間の距離を短くし、ブレースハイトを高くし、上のリムのハイトを低くします。

\*この後はペーパーチューニングをすべきです。一般的にAPEX7のセンターショットは11/16~13/16の間があります。